

Maebashi Institute of Technology

前橋工科大学

2026年度

学生募集要項

【特別選抜】

帰国生徒

〒371-0816

群馬県前橋市上佐鳥町460番地1

前橋工科大学 学務課入試係

TEL 027-265-0111 (代表)

027-265-7361 (学務課入試係)

FAX 027-265-3837

E-Mail nyushi@maebashi-it.ac.jp

目 次

2026年度入学者選抜における主な変更点について	1
前橋工科大学工学部の教育ポリシー	2
前橋工科大学工学部 各学群の教育ポリシー	3
I 募集人員	5
II 出願・手順	5
II-1. 出願資格	
II-2. 出願期間	
II-3. 出願方法	
II-4. 出願先	
II-5. 出願書類	
II-6. 入学検定料	
III 選抜方法及び試験日程等	7
III-1. 選抜方法	
III-2. 試験会場及び試験日時	
III-3. 受験上の注意事項	
III-4. 受験心得	
IV 合格発表	9
IV-1. 発表日	
IV-2. 発表方法	
V 入学手続	9
V-1. 入学手続期間	
V-2. 入学手続方法	
V-3. 入学手続き場所及び送付先	
V-4. 入学手続に必要なもの	
V-5. 入学手続上の注意事項	
VI 入学に係る経費	11
VII 障がい等へ配慮を必要とする入学志願者との事前相談	11
VII-1. 相談期間	
VII-2. 相談の方法	
VII-3. 連絡先及び提出先	
VIII その他	12
VIII-1. 個人情報の取扱い	
VIII-2. ノート型パソコンの必携化について	
VIII-3. 前橋工科大学へのアクセス	
試験当日の所持品チェックリスト	14

2026年度入学者選抜における主な変更点について

- 1 帰国生徒の学生募集について、以下のとおり変更します。
 - ・学群別の募集を教育プログラム別の募集に変更します。

前橋工科大学工学部の教育ポリシー

○ 前橋工科大学の三つのポリシー（アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー）

本学は、建築・都市・環境工学群、情報・生命工学群の2学群から構成される、工学部単科大学である。大学として、入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の3ポリシーを定めている。多様な特色をもつ2学群では、それにしたがって、学群の理念を実現するため、さらに学群ごとに三つのポリシーが定められている。

● 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

前橋工科大学の理念、教育の目標を理解し、以下の能力、意欲を持つ人の入学を希望します。

- ・教育課程編成・実施の方針をもとに学び、成長するために必要な、高校課程の基礎的な学力を備えている人
- ・工学に関心を持ち、みずから考え、判断する力を育くみ、何事にも積極的に挑戦しようと考えている人
- ・発想力、洞察力、コミュニケーション力をみがくため、持続力をもって学ぼうとする人
- ・対話によって気づきを共有することが、学びを深めるために大切だと認識する人

● 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・卒業認定・学位授与の方針を達成するために必要な、教養基礎科目、専門教育科目を学修する
- ・工学教育を特徴づける実験・実習・演習をとおして、課題の解決に必要な知識と方法を修得し、その結果を論理的に発表する力を身に付ける
- ・本学での学修に加え、インターンシップなどの学外活動をとおした実社会との交流も促進し、表現力、協調性、倫理性を涵養する

● 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

- ・本学がめざす自然と人との共生、持続可能な循環型社会の構築に寄与するための幅広い基礎的な学力、工学の知識と技能を修得し、判断力と実行力を有している
- ・自ら課題を見いだすことができ、解決に主体的に取り組み、その成果を発表する能力を備えている
- ・他者との協働に参画し得る社会性を有し、専門技術者として果たすべき使命と役割を理解し、倫理観や責任感を身に付けている

建築・都市・環境工学群の教育ポリシー

「入学者受入方針」（アドミッション・ポリシー）

・求める学生像

身のまわりのアイテム、建築物、橋のような公共構造物と、それらとふれあう場としての生活空間・情報空間について、工学的にデザインする技術者の育成を目指します。日ごろ目にするものやその環境が学びの対象です。持続的社会の構築を目指してどのように‘もの’や‘空間’と向き合い、環境を整えるべきか、工学を手掛かりに考えたい人の入学を希望します。

・評価の観点

広い視野と洞察力、独創的な発想力と問題解決能力、コミュニケーション力などの基盤となる数学・理科・国語・英語、特に数学・理科の基礎的学力を評価します。また学びを深めようとする意欲を確認します。高等学校等での習得すべき科目は、数学では数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C（あるいは同等の科目）、理科では、物理（物理基礎を含む）・化学（化学基礎を含む）、国語、英語及び情報Ⅰで、入学時までにこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）

学群のディプロマ・ポリシーを達成するために、教養基礎科目、専門教育科目（工学基礎科目、学群共通科目、プログラム専門科目）に分けて、次のとおり年次進行で学修する。

初年次は、幅広い学友とともに教養基礎科目を学び、豊かな人間性を身に付け、文理融合型学修を実践すると同時に、工学基礎科目及び学群共通科目の履修により、工学技術者としての最低限必要な基礎学力を身に付ける。

2年次においては、学群共通科目の履修をとおして学群の関係する広範な学術分野を横断的に理解できる能力を開発するとともに、それぞれの教育プログラムの基礎的な科目を学び、学生ひとりひとりが基礎知識と自己表現力・提案力を身に付け、自らの志向、能力、個性を見いだしていく。

3年次においては、それぞれの教育プログラムの専門科目を中心に学び、専門的知識を獲得し、それを応用する力を養う。

4年次においては、専任教員の研究室に所属し、専門技術者に必要な知識、知恵を修得しつつ、卒業研究に取り組むことで、論文のまとめ方、プレゼンテーションの方法、討議の仕方を学び、大学教育の総仕上げを行う。

「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）

所定の年限在学し、所定の授業科目を履修して、卒業に必要な130単位以上を修得し、次の能力を有すると認められた者に学士（工学）の学位を授与する。

自ら問題を発見し、論理的に分析し、解決する能力を身に付け、そしてその結果を、市民を含めた第三者に対して、分かりやすく伝達することができる。

学んだ技術や知識をもとに、状況に応じて柔軟に対応できる応用力を身に付けている。

人間の生活の豊かさ、人間の健康、地球の環境のために、必要な情報や基礎知識を抽出して活用しつつ、問題を創造的に解決することができる。

自然と人との共生や持続可能な循環型社会の構築に貢献するために、様々な専門職業人と協働するコミュニケーション能力を身に付けている。

人類の持続可能な発展を顧慮しつつ、人間として備えるべき倫理観を持ち、自らの仕事が及ぼす社会的責任を理解している。

情報・生命工学群の教育ポリシー

「入学者受入方針」（アドミッション・ポリシー）

・求める学生像

情報科学・生命科学・ロボット技術と、微生物から人間まで様々な生きもののもつ優れた機能の利用によって、よりよい社会をつくる技術者の育成を目指します。データサイエンス及びライフサイエンスがおもな学びの対象です。最先端の技術を持続的社会的形成に役立て、人々の暮らしを豊かにする方法を考えたい人の入学を希望します。

・評価の観点

広い視野を持って、自然科学・工学の知識を収集・理解し、問題を発見、分析、解決するための基盤となる数学・理科・国語・英語、特に数学・理科の基礎的学力を評価します。また学びを深めようとする意欲を確認します。高等学校等での習得すべき科目は、数学では数学I・II・III・A・B・C（あるいは同等の科目）、理科では物理（物理基礎を含む）・化学（化学基礎を含む）、生物（生物基礎を含む）（あるいは同等の科目）、国語、英語及び情報Iで、入学時までにこれらの科目の内容を理解していることが望まれます。

「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）

学群のディプロマ・ポリシーを達成するために、教養基礎科目、専門教育科目（工学基礎科目、学群共通科目、プログラム専門科目）に分けて、次のとおり年次進行で学修する。

初年次は、幅広い学友とともに教養基礎科目を学び、豊かな人間性を身に付け、文理融合型学修を実践すると同時に、工学基礎科目及び学群共通科目の履修により、工学技術者としての最低限必要な基礎学力を身に付ける。

2年次においては、学群共通科目及びそれぞれの教育プログラムの基礎的な科目を履修し、学生ひとりひとりが技術者としての基本的な素養とともに情報工学及び生命工学に関する基礎知識を身に付け、自らの志向、能力、個性を見いだしていく。

3年次においては、それぞれの教育プログラムの専門科目を中心に学び、専門的知識を獲得し、それを応用する力を養う。

4年次においては、専任教員の研究室に所属し、専門技術者に必要な知識、知恵を修得しつつ、卒業研究に取り組むことで、論文のまとめ方、プレゼンテーションの方法、討議の仕方を学び、大学教育の総仕上げを行う。

「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）

所定の年限在学し、所定の授業科目を履修して、卒業に必要な130単位以上を修得し、次の能力を有すると認められた者に学士（工学）の学位を授与する。

自ら問題を発見し、論理的に分析し、解決する能力を身に付け、そしてその結果を、市民を含めた第三者に対して、分かりやすく伝達することができる。

学んだ技術や知識をもとに、状況に応じて柔軟に対応できる応用力を身に付けている。

人間の生活の豊かさ、人間の健康、地球の環境のために、必要な情報や基礎知識を抽出して活用しつつ、問題を創造的に解決することができる。

自然と人との共生や持続可能な循環型社会の構築に貢献するために、様々な専門職業人と協働するコミュニケーション能力を身に付けている。

人類の持続可能な発展を顧慮しつつ、人間として備えるべき倫理観を持ち、自らの仕事が及ぼす社会的責任を理解している。

I 募集人員

学部	学群※ ¹	教育プログラム	募集人員
工学部	建築・都市・環境工学群	土木・環境プログラム	若干名
		建築都市プログラム	若干名
		工学デザインプログラム	若干名
	情報・生命工学群	情報システムプログラム	若干名
		医工学プログラム	若干名
		生物応用プログラム	若干名

※¹ 学科に相当します（以下同じ。）。

II 出願・手順

II-1. 出願資格

次の（１）の①～③のいずれか、かつ、（２）の要件を満たしている者

（１）日本国籍を有し、保護者の海外勤務等やむを得ない事情により、外国に在住し、外国の学校教育を受けた者で次のいずれかに該当する者

①外国において、外国の教育制度に基づく１２年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を２０２４年４月１日から２０２６年３月３１日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者。ただし１２年の課程のうち外国の学校教育を、最終学年を含めた２学年以上継続して受けていること。

②外国において、外国の教育制度に基づく教育を２年以上継続して受け、１２年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を中途退学し、引き続き日本の高等学校の第３学年若しくは中等教育学校の第６学年に編入学を認められた者で、２０２６年３月３１日卒業見込みの者

③外国において、外国の大学入学資格（国際バカロレア資格、アビトゥア資格、フランス共和国のバカロレア資格、GCE Aレベル資格取得者はAレベル３科目以上又はAレベル２科目とASレベル２科目の合計４科目）を２０２４年４月１日以降に授与された者

※①及び②において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は外国において学校教育を受けた者とはみなされない。

（２）TOEFL iBT®、TOEIC® L&R の公開テストのうちいずれか１つを２０２４年４月以降に受験している者

※出願資格に疑問がある場合は、事前に学務課入試係に問い合わせてください。

II-2. 出願期間

２０２６年１月２６日（月）～ １月３０日（金）

II-3. 出願方法

出願書類を前橋工科大学ホームページ（トップページ ≫ 入試情報 ≫ 大学入試要項 ≫ 帰国生徒）
[\[https://www.maebash-iit.ac.jp/examinee/admission/kikokuseito.html\]](https://www.maebash-iit.ac.jp/examinee/admission/kikokuseito.html)よりダウンロード・印刷し、必要事項を記入等のうえ、出願書類を出願書類提出用封筒に入れ、下記出願先に速達の簡易書留で郵送してください。出願受付は、出願期間内必着ですので、郵送期間を十分考慮のうえ発送してください。

Ⅱ-4. 出願先

〒371-0816 群馬県前橋市上佐島町460番地1
前橋工科大学 学務課入試係
TEL 027-265-7361

Ⅱ-5. 出願書類

出願に必要な書類	作成方法等
入学願書	黒色のボールペン（消せるボールペンは不可。以下同じ。）で記入又はパソコン等で作成してください。
志願者調書	黒色のボールペンで記入又はパソコン等で作成してください。学校教育歴は初等教育から全てを記入してください。職歴は、ある人のみ記入してください。
受験票・写真票	必要事項を記入し、縦4cm×横3cmの写真（正面上半身脱帽背景なし、出願前3か月以内に撮影したもの）の裏に氏名を記入し、写真貼付欄に貼付してください。カラー・白黒は、問いません。
大学入学希望理由書・活動報告書	本学ホームページにある書式を使用し、志願者本人が記入してください。※様式は、本学ホームページ→入試情報→大学入試要項のページ（ https://www.maebashi-it.ac.jp/examinee/admission/boshuyoko.html ）からダウンロードしてください。
入学検定料振込依頼書及び入学検定料納付証明書	入学検定料は、『振込依頼書』を使用し、金融機関（ゆうちょ銀行は除く）の窓口にて納入してください。ATMやインターネットバンキングでの納入はしないでください。入学検定料納入後、『入学検定料納付証明書』を貼付欄に貼付してください。受領印のないものは受付できません。
最終出身学校の卒業（見込）・修了（見込）証明書	出身学校所定の原本を提出してください。
成績証明書（※調査書）	出身学校所定の用紙で作成された原本を提出してください。 国家試験等の統一試験（アメリカ合衆国のSAT等）を受験している者は、その成績評価証明書等を提出してください。 ※日本の高等学校に在学したことのある者は提出してください。
国際バカロレア資格証書の写し	該当者のみ提出してください。 ※入学手続きの際に原本を郵送又は持参してもらいます。郵送又は持参された原本は返却いたします。
アビトゥア資格証書（成績記載のもの）の写し	
フランス共和国のバカロレア資格証書の写し	
GCE の成績評価証明書の写し	
TOEIC® L&R 公式認定証又は TOEFL®スコア認定証	2024年4月以降に受験した TOEIC® L&R 公式認定証又は TOEFL®公式スコア票を提出してください。（確認後コピーし返却しますが、返却の際に生じた郵便事故等に関しては、本学は一切責任を負いません。）
前橋市の住民票の写し	前橋市内居住者（「Ⅵ 入学に係る経費」（11頁）に該当する場合は、入学金減免の対象となるので住民票の写しを提出してください。なお、配偶者又は1親等の親族が前橋市内居住者の場合は、本人との関係性が分かる書類を併せて提出してください。

受験票返信用封筒	長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に、出願する者の郵便番号、住所、氏名を明記し、定形郵便物(25gまで)と速達分の切手を貼ったもの。返信用切手が貼付されていない場合、受験票を返信いたしません。
出願書類提出用封筒	提出書類送付用ラベルに、志望プログラム、差出人等の必要事項を記入し、角型2号の封筒にはがれないように糊付してください。

- ※ 出願書類は原本を提出してください（提出した出願書類は返却できません。）。
- ※ 原本が日本語又は英語以外で作成されている場合は、「原本」、「日本語又は英語で作成された訳文」、「その訳文を翻訳・作成した機関又は翻訳会社（翻訳者）の住所・名称（氏名）・連絡先等が記載され、押印又はサインのある証明書」の書類（コピー不可）をそれぞれ提出してください。
- ※ 証明書に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、戸籍抄本を添付してください。

II-6. 入学検定料

入学検定料 17,000円

入学検定料の支払時は、別途、手数料がかかります。

一度納付された入学検定料は、次の①～④のいずれかに該当する場合を除き、どのような理由があっても返還しません。

- ① 二重に納入した場合
- ② 入学検定料の納入後、出願手続きをしなかった場合
- ③ 出願無資格者であることが判明した場合
- ④ 出願期間後に出願書類の提出があった場合

※上記①～④の場合は、検定料から手数料を差し引いた金額を返還します。納入した検定料の対象となる試験の実施日までに、本学学務課入試係（027-265-7361）に問い合わせください。

III 選抜方法及び試験日程等

III-1. 選抜方法

合否判定の方法

個別学力検査、面接、出願書類（TOEIC® L&R 公式認定証又は TOEFL®スコア認定証、大学入学希望理由書・活動報告書、成績証明書）を総合して判定します。

次の（１）～（３）により、総合的に判断します（両学群共通）。

- （１）書類審査
- （２）個別学力検査（一般選抜【前期日程】と同一問題）（両学群共通）
数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C）
- （３）面接

III-2. 試験会場及び試験日時

- （１）試験会場： 前橋工科大学（試験室等は、当日に受付（１号館）でお知らせします。）
- （２）試験日時： 2026年2月25日（水）10時00分から
- （３）試験実施時間

時 間		10:00～12:00		13:30～17:00
科 目	諸注意	個別学力検査	昼食休憩	面 接

※ 試験開始の1時間前から試験室に入室開始となります。

※ 受験生は、9時から9時30分までに指定された試験室等に入室し、着席してください。

Ⅲ-3. 受験上の注意事項

- (1) 試験当日は、受験票を必ず持参してください。
- (2) 試験当日に受験票を忘れた者は、速やかに1号館1階にある大学事務局で受験票の再発行手続きをしてください。また、受験票は、入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- (3) 試験室等は、当日に受付（1号館）に掲示します。
- (4) 受験生は、試験開始の30分前までに指定された試験室等に入室し、着席してください。
- (5) 試験開始後、30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- (6) 面接では、試験開始時に不在であった場合は、欠席したものとして取扱います。
- (7) 該当する試験を全科目受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- (8) 受験票は、試験監督者に明示できるよう机上に置いてください。
- (9) 試験時間中に使用を認めるものは、鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能のみのもの）に限ります。
- (10) 試験室での受験生間の物品の貸借は、一切認めません。
- (11) 昼食を持参し、自席で食事をとってください。食堂の営業は行いません。また、休憩時間や昼食時等における他者との接触、会話を極力控えてください。
- (12) 上履きは不要です。
- (13) 駐車場は、数が限られておりますので、できるだけ公共交通機関を利用してください。
- (14) 本学では宿泊施設の斡旋は、しておりません。必要な場合は、各自で手配してください。
- (15) 試験会場及びその周辺で合格電報、レタックス等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係がなく、トラブル等が生じてても責任を負えませんので注意してください。
- (16) 試験日前日の午前に限り試験会場の下見は可能ですが、建物内（試験室等）への立ち入りはできません。
- (17) 受験者数により面接試験の待機時間が長くなる場合がありますので、ご承知おきください。特に、公共交通をご利用の方は、帰りの運行時間等にご注意ください。
- (18) 面接会場への、図面や作品等の持ち込みを禁止します。
- (19) 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が求められているインフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症になり治癒していない者は、他の受験生等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮願います。なお、これにより受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置や入学検定料の返還は行いませんので、試験当日の体調管理については、十分に注意してください。
- (20) 不測の事態等が生じ、試験実施が困難であると判断した場合は、試験を中止し、又は試験形態を変更する事があります。
ただし、このことに伴う受験生の個人的な損害については、本学は、責任を負いません。
- (21) 試験の実施に関して変更等がある場合は、本学ホームページに掲載しますので、試験前に確認してください。

Ⅲ-4. 受験心得

- (1) 試験時間中は、監督者の指示に従ってください。不正行為を行った者は、失格とします。
- (2) 携帯電話やスマートフォン、スマートウォッチなどのウェアラブル端末は、アラーム機能を止めてから本体の電源を切り、かばんに入れ、身に付けないでください。机の上に置けないものは、かばん等に入れ、机の下に置いてください。試験時間中にかばん等の中で音などが発生した場合は、監督者が本人の了承を得ずに、かばん等を試験室外に持ち出し、試験場本部で当該試験時間終了まで保管します。
- (3) 座布団、ひざ掛けの使用を希望する場合は、試験開始前に挙手し、監督者の許可を得て使用してください。
- (4) 耳せんは、試験監督の指示等が聞き取れないことがあるので、使用できません。
- (5) 試験時間中に日常的な生活騒音等が発生した場合でも救済措置は、行いません。
- (6) マスクを着用している場合は、顔写真照合の際、一時的にマスクを外していただくことがあります。
- (7) 公正な入学試験の実施を妨げるような行為があったと認められる場合、本年度の本学における全ての入学試験において不合格とします。
- (8) 試験時間中は、退出することはできません。試験時間中に体調不良、トイレ等により、やむを得ず退出を希望する場合は、挙手をして監督者に知らせ、その指示に従ってください。ただし、受験を中断した場合でも、試験時間の延長は、認めません。
- (9) 問題用紙及び解答用紙を配付する試験では、用紙に記載されている注意事項をよく読んでください。
- (10) 面接が終了していない受験者が、面接が終了した受験者から面接の内容を聞くことや面接が終了した受験者が面接を終了していない受験者に面接の内容を教えることは、不正行為となり、双方が失格となります。

Ⅳ 合格発表

Ⅳ-1. 発表日

2026年3月6日（金）13時00分

Ⅳ-2. 発表方法

合格者には「合格通知書」及び「入学関係書類」等を速達で郵送します。また、合格者の受験番号は本学ホームページ (<https://www.maebashi-it.ac.jp/>) で、合格発表日の13時以降に掲載しますが、合格通知書の送付をもって正式通知とします。なお、電話等による可否に関する問い合わせには一切応じません。

V 入学手続

V-1. 入学手続期間

2026年3月7日（土）～ 3月13日（金）

V-2. 入学手続方法

入学手続書類の提出は、郵送又は持参により行ってください。

郵送：速達の簡易書留とし、提出期間内必着

持参：受付時間は、土日祝日を除く、9時00分～12時30分及び13時30分～17時00分

V-3. 入学手続き場所及び送付先

「Ⅱ-4. 出願先」(6頁)と同じ。

V-4. 入学手続きに必要なもの

①振込金受領書〔入学料〕【原本】：書類提出前に金融機関で納入してください。

②本学の受験票（又は合格通知書）

③入学手続き案内で指示するもの

a) 誓約書（本学所定の用紙）

b) 学生調査票（上記 a の裏面）

c) カラー写真 2枚（縦4 cm×横3 cm。1枚は学生調査票に貼付。）

※①、②は手続き完了後返却します。

※入学許可書の発行をもって、入学資格が発生します。

V-5. 入学手続き上の注意事項

①期間内に手続きを完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

②必要な書類がすべて揃っていない場合は受け付けませんので、書類提出の際には十分確認をしてください。また、入学手続き期間を過ぎて到着した場合も受け付けませんので、郵送の場合には所要日数を十分に考慮して発送してください。

③入学料を納入した場合でも入学手続きに必要な書類は、所定の期日までに必着していなければなりません。

④卒業(修了)見込み又は学位授与見込みで出願・合格し、入学手続きを完了した場合でも、2026年3月31日までに卒業(修了)又は学位授与されないことが判明した場合には、入学資格を失います。

⑤入学手続き完了後、やむを得ない理由で入学を辞退する場合は、直ちに本学に連絡し、2026年3月31日【必着】までに所定の入学辞退届を提出してください。

⑥一度受付をした入学手続き書類及び納入された入学料は、どのような理由があっても、返還しません。ただし、次のア又はイのいずれかに該当する場合は、入学料を返還しますので、入学手続き期間の最終日までに、学務課入試係に問い合わせてください(振込手数料は、本人負担となります。)

ア 二重に納入した場合

イ 入学料の納入後、入学手続きをしなかった場合

入学手続き書類を受理しなかった場合は、本学から入学料の返還手続きの案内を行います。

VI 入学に係る経費

		金 額	納入時期
入 学 料		282,000円	入学時
		141,000円 [前橋市内居住者] (注1)	
諸 経 費	後 援 会 費	50,000円	入学前
	同 窓 会 費	20,000円	
	災害傷害保険料 (注2)	4,660円	
	TOEIC受験料 (注3)	3,130円 [1年次に受験]	
	学生自治会費	21,000円	入学時
授 業 料 (注4)		535,800円 [年額]	4月 及び 10月

※上記の額は、2025年4月1日現在のものです。改定した場合は、改定後の額が適用されます。

※入学料等の支払時は、別途、手数料がかかります。

(注1) 「前橋市内居住者」とは、入学する者又は配偶者若しくは1親等の親族が2026年4月1日において引き続き1年以上前橋市に住所を有している者（2025年4月1日～2026年4月1日までの間、前橋市に住民登録がある者）とします。「前橋市内居住者」として入学料を納入し、入学した者は、2026年4月1日以降に取得した前橋市の住民票の写し（2026年4月1日以降に転出した者は住民票の除票）を提出していただきます。
なお、前橋市内居住者の条件を満たしていないことが判明した場合は、差額を納入していただくことになりますので、ご注意ください。

(注2) 災害傷害保険料は、学生教育研究災害傷害保険料・学研災付帯賠償責任保険料（正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。また、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりした場合の補償も含まれます。保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。）で、指定された期日までに払い込んでください。

(注3) 後援会加入の場合は、2,000円の助成が受けられます。

(注4) 授業料の納入については、前期及び後期の2期に分割し、前期分については4月末日までに、後期分については10月末日までに、それぞれ年額の2分の1に相当する額を納入することになります。また、教科書購入等のために別途費用が必要となります。

VII 障がい等へ配慮を必要とする入学志願者との事前相談

障がい等のある方が本学への入学を志願する場合で、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性があるときは、次のとおり、出願前に必ず連絡し、相談してください。また、相談期限後に不慮の事故等により身体等に障がいを負うこととなった場合も、速やかに相談してください。

VII-1. 相談期間

2025年11月25日（火）～ 11月28日（金）

VII-2. 相談の方法

事前に学務課入試係（027-265-7361）まで電話連絡し、本学で定める相談申請書（住

所・氏名・性別・連絡先・志望学群・障がいの状況・受験上、修学上特別な配慮を希望する事項・出身学校等で取られていた特別措置を明記してください) 及び診断書等の必要書類を提出してください。必要な場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者等との面談を行います。

VII-3. 連絡先及び提出先

「II-4. 出願先」(6頁)と同じ。

VIII その他

VIII-1. 個人情報の取扱い

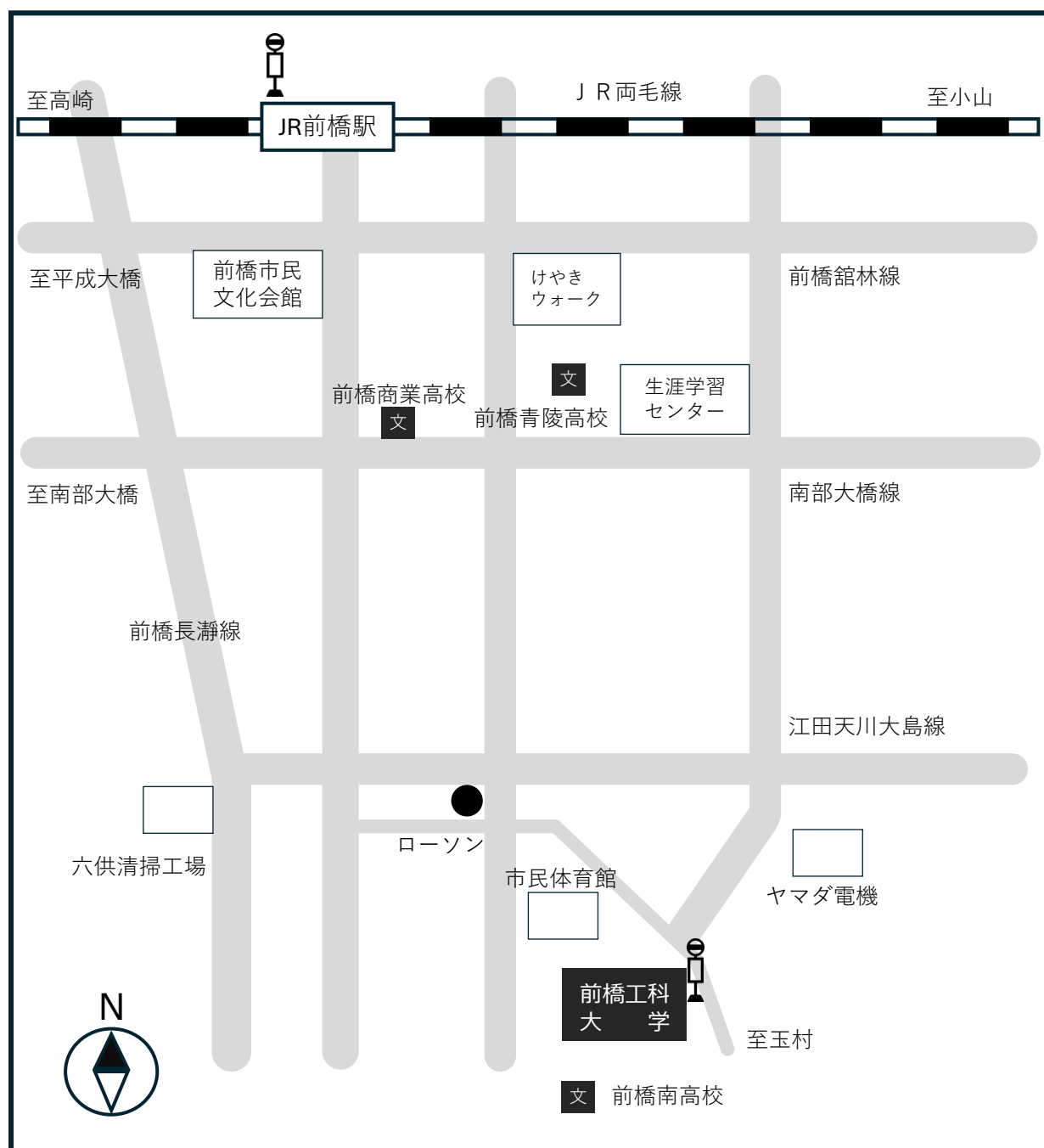
前橋工科大学では、提出された書類及び入学試験の実施によって取得した志願者の個人情報は、関係法令を遵守し、次の目的以外には利用しませんので、あらかじめご了承ください。

- (1) 入学者の選抜、合格者発表及び入学手続業務を行うために利用します。
- (2) 入学者の個人情報は、教務関係、学生支援関係及び授業料徴収業務関係の業務を行うために利用します。また、本学関連団体である前橋工科大学後援会、前橋工科大学同窓会及び前橋工科大学学生自治会において、各団体の運営に必要な範囲内で利用します。なお、本学の上記業務にあたり、一部の業務を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績等の情報は教務関係及び学生支援関係の業務、並びに今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために学内でのみ利用します。

VIII-2. ノート型パソコンの必携化について

本学では、高度情報化社会における情報通信技術等の修得や、ICTを活用したアクティブラーニングの推進、学修環境の充実を目的として、ノート型パソコン必携制度を実施しています。これにより、本学に入学される方は、入学までに各自でパソコンを準備していただくことになります。なお、準備していただくノート型パソコンの推奨仕様は、後日、本学ホームページでお知らせします。

前橋工科大学案内図



アクセス

- ・ バス JR前橋駅北口4番乗場から約10分「前橋工科大前」下車
- ・ タクシー JR前橋駅から約10分
- ・ 徒歩 JR前橋駅から約45分

Googleマップ



試験当日の所持品チェックリスト

①	2026年度前橋工科大学受験票	
②	鉛筆（黒「HB」「B」）又は シャープペンシル（黒「HB」「B」）	
③	消しゴム	
④	鉛筆削り	
⑤	時計（時計機能のみのもの）	